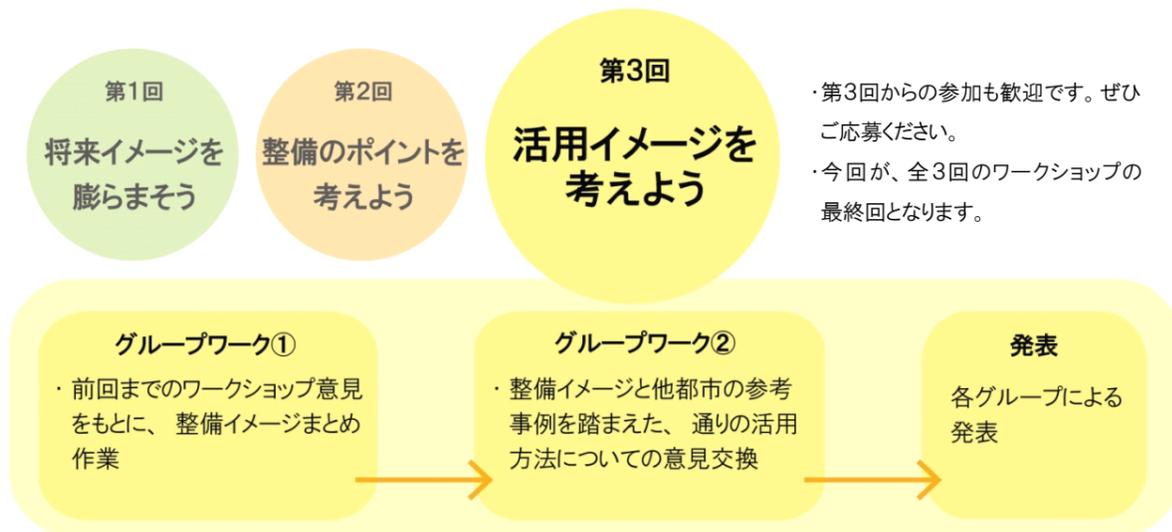


3-1.第2回ワークショップ開催のお知らせ

「ハウディモールの将来像を考える」 ワークショップの第3回を開催します！

「柏駅周辺まちづくり10カ年計画」に基づき、ハウディモールの将来イメージを沿道の方々と一緒に検討していくためのワークショップを開催しています。詳細につきましては、1-1.をご覧ください。



・第3回からの参加も歓迎です。ぜひご応募ください。
・今回が、全3回のワークショップの最終回となります。

第3回ワークショップ開催概要

※前回と開始時間・会場が異なります。ご注意ください。

開催日時: 2月26日(金)
午後6時～午後8時頃

開催場所: 柏駅東口D街区第一地区市街地再開発組合事務所
(住所 柏市中央町2-1 柏セントラル4階)

申込期限: 2月19日(金)

申込み先: 電話、FAX、メールいずれかにて
事前にお申し込みください。

- ・電話 (04-7167-2354)
- ・FAX (04-7167-2266)
- ・メール (chushinshigaichi@city.kashiwa.lg.jp)

※参加を希望される場合、事前にお申し込みください。また、申込者多数の場合は抽選にて人数を調整させていただく可能性もございます。予めご了承ください。



参加申込書 (FAX 送付用)

柏市 都市部 中心市街地整備課 (担当 藤田・長妻・植草) FAX: 04-7167-2266

お名前	ご所属・店名など		
電話	E-mail		

※FAX・Eメールでのお申込みの際は、可能な限り、全ての項目をご記入の上、お申し込みください。
FAXでのお申込みの際は、紙面の表裏にご注意ください。



ハウディモールまちづくり通信 2号

1-1.第2回「ハウディモールの将来像を考える」ワークショップを開催しました

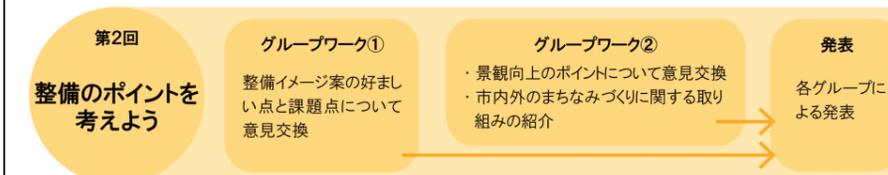
ワークショップについて

市では、柏駅周辺の街の魅力とポテンシャルの向上等を目指し、「柏駅周辺まちづくり10カ年計画」を策定しました。この計画に基づき、駅周辺の各「通り」の将来イメージを沿道の方々と一緒に検討していくためのワークショップ第2回を、平成27年12月1日(火)に開催しました。

ハウディモールが目指す将来像の参考となる他都市の事例について、なぜ良いのか、なにが見習える等の意見交換を行い、整備の方向性を共有しました。

柏駅周辺まちづくり10カ年計画の詳細は柏市ホームページをご参照ください (<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/110500/index.html>)

第2回のテーマ・内容



発表の様子

2-1.ワークショップ内容

テーマ1: 道路空間の要素

前回ワークショップで意見が多かった「a.街路樹・プランター」「b.ベンチ・イス」「c.交差点部の設え」について、具体的な空間イメージを共有しました。



b.左から、植栽ます立上りベンチ/ベンチ/イス・テーブルセット



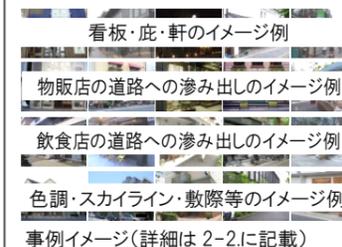
a.左から、常緑樹/落葉樹/プランター



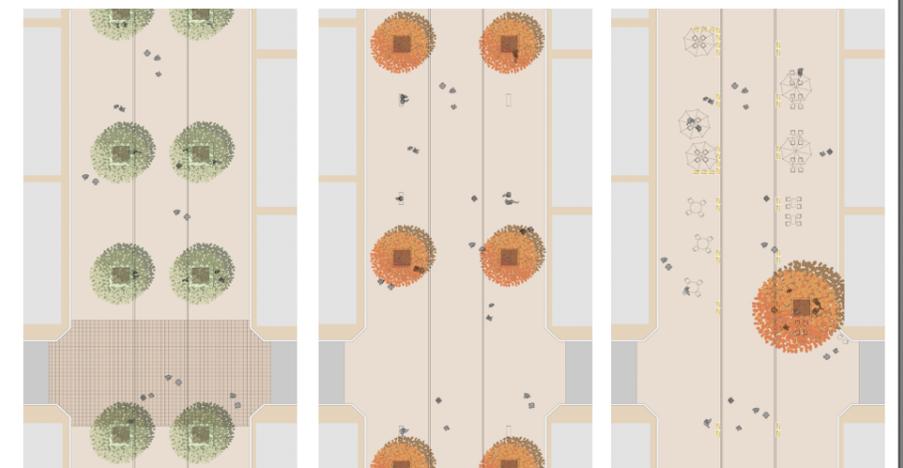
c.左から、イメージハンブ等/通りと同様/シンボルツリー整備

テーマ2: 沿道の要素

街並み向上のために重要な沿道の要素を、通りの整備との一体性を踏まえながら、具体的なイメージを共有しました。



模型を使用してのイメージ共有



前回WSの意見を反映させた、当日の議論のたたき案

2-2.ワークショップの意見まとめ

テーマ1:道路空間の要素(○)、テーマ2:沿道の要素(◇)について、模型でイメージをつかみながら意見交換を行いました。

A班



- トンネルのような囲われ感
- 防犯カメラの見通しを確保
- 賑わいを妨げない密度
- 枝ぶりの良い樹木
- 交差点は舗装を変える
- 案内板、インフォメーション設置
- キュービクルのアート化、民地設置
- ポイントでレイソルカラー使用
- 2階3階も店舗利用
- 閉店後も店先を演出
- 土日のイス、テーブル設置
- 可動のベンチ設置

B班



- シンボルツリー
- イルミネーション利用
- 歩行空間確保
- 木の周りにテーブル等設置
- プランター等で季節感を出す
- 交差点は舗装を変える
- 飲食店の道路使用
- たまり場確保
- 閉店後も店先を演出
- 商品陳列の滲み出し
- 店舗前面のショーウィンドウ
- 敷設演出
- テラス席
- スカイライン協調
- 色彩調和
- 看板統一性

C班



- 樹木は間隔を開けて植える
- 千鳥配置
- 枝ぶりの良い木
- オープンカフェ
- 公園のようなスペース
- 可動式ベンチ
- 植栽ます立上りベンチ
- テラス席(敷地内)
- 店舗前面のショーウィンドウ
- 店頭販売・テラス席(道路上)
- 閉店後も店先を演出

樹木について

- 緑をたくさん感じられる樹木
 - トンネルのように囲われる感じが良い
 - 枝ぶりの良いものが良い
- 通りの使われ方に配慮した樹木
 - ゴミ捨てやイタズラされないように配慮
 - 市内小学校へ花を植える場所を提供
 - 荷捌き、看板に配慮
- 管理を考慮した樹木選び
 - 落葉の手入れは面倒なので、常緑樹等、手入れが容易な樹木が良い
 - 虫害や鳥害に配慮した樹木が良い
- スッキリとした景観をつくる配置
 - 列植は見た目がうるさい
 - 賑わいを妨げない密度が良い

交差点や通りの設えについて

- 通りの特徴的な場所となる交差点
 - 通りと素材を変える
 - 通りと同じ設えで統一感を出す
 - 目印となるシンボルツリーを設置
 - 設えは交差点ごとに変わる
- 広場としても使える交差点
 - 広場的な空間を意識した、シンプルかつ上質なデザイン
- 通りの安全に貢献する交差点
 - 交差部に物理的なハンブを設ける
 - 交差点に目印を設置し注意喚起

イス等による滞留空間づくりについて

- 広場や公園としても利用できる通り
 - 公園の設置要望が多い
 - 広場的利用、イベント利用を考慮し、設置物は少なく、ベンチ等は可動
 - ベンチ等での滞在で賑わい演出
 - 使う人のモラルも大切
- 雨を除け、快適に利用できる通り
 - 雨を除けられることが必須
 - 手入れに考慮した雨に強い素材

コンセプトについて

- コンセプトとその実現方法
 - にぎわい演出、機能性と憩いの両立、モラルづくりが重要
 - 昼の街にしたい
 - イベントの告知が重要
 - UDC2の出番ではないか

取り入れたい沿道の要素について

- 通り全体での、統一感ある雰囲気づくり
 - 歩行者の視線の景色が良い(⑥⑬⑭)
 - 街並みに統一感を持たせる(⑯⑰)
 - 2階3階も店舗利用
 - 青山骨董通りのイメージ(③⑨)
 - 看板統一効果は大きいので、色、ライン等合わせたい(②)
- 夜間にも配慮した店先の雰囲気づくり
 - ショーウィンドウで昼間も閉店後も店舗を演出(③⑧⑨⑭)
 - 店舗の滲み出しで通りのにぎわいを演出(⑥⑩⑬⑭⑮)
 - テナントによる緑の創出(⑱⑳)

樹木について

- 通りに季節感・特徴を与える樹木・花
 - シンボルツリーが欲しい
 - 落葉樹はイルミネーションに適している
 - 樹木ではなくプランターで季節感を出す
 - 季節感を出すのは花でなくてもよい
 - プランターに花を植える場合、冬場は寂しくなる
 - プランターより地植えの方が水やりは楽
- 特性を考慮した樹木選び
 - くさりづらい木、丈夫な木など、樹形よりも樹木の特徴を重視
 - ケヤキは、2階の高さまでは視認性が確保でき、緑も多い
 - メンテナンスがかからない樹種が良い
- 防犯に配慮した植え方
 - 樹木は、街灯の防犯カメラをふさがないように配慮

取り入れたい沿道の要素について

- 沿道建物の通りに対する表情づくり
 - 派手すぎず、デザインが良く、夜の照明にも配慮した看板(①)
 - 店舗の個性を出せるウィンドウを活用(⑨)
 - ファサードがガラスで店内が見えると、入りやすくて良い(⑥⑧)
 - シャッターは暗い印象を与えるのでなくしたい(⑧⑨)
 - 閉店後の設えが良い(⑧)
 - 店頭の手入れされた植栽が良い(⑮)
- 歩行空間と一体的な沿道のづくり
 - 道路側のテラスは、通りとの一体感、賑わい、開放感があり、街並みにとって良い(⑬⑭)
 - 歩行者を妨げない(⑨)
- 統一感のある街並みづくり
 - 高さを協調して揃え、街並みに統一感を持たせる(⑰)
 - 色彩で街並みに統一感を持たせる(⑯)

交差点や通りの設えについて

- ゆとりある歩行空間、等
 - 樹木は地上から2m程度の高さまで枝を落とし、歩行空間を確保する
 - 緊急車両への配慮が必要
 - 交差点の舗装は通りと異なる素材やデザインとする

イス等による滞留空間づくりについて

- 憩える場づくり
 - 街路樹を減らしてたまり場を確保
 - 木の周りを囲むテーブル等を設置
 - 飲食店の道路利用で賑わいづくり
 - 喫煙所の設置

樹木について

- 常に緑の潤いを感じられる空間
 - 常に緑があると景観的に良く、安らぐ
 - 枝ぶりの良いものがいい
 - プランターは、夏以外の季節は寂しいのではないかと
- 通りの活動に利用できる樹木
 - 落葉樹は、夏は日影が涼しく、冬はよく陽が当たる
 - 落葉樹をクリスマス等のイベントに活用
 - 大きい木だと通りとのバランスが悪い
 - サンサンは落葉樹、ハウディは常緑樹というように、樹種を分ける
- メンテナンスを考慮した樹種選び
 - メンテナンスがかからない樹種が良い
 - 常緑樹は手入れがしやすい
 - 落葉樹は落ち葉の処理、下水のつまりが発生する
 - 落葉の処理は大変でない
 - プランターは維持管理、悪戯の問題あり
- 見通しを確保できる樹木の配置
 - 店舗が隠れないように、大きな樹を7本ほど道路の真ん中に寄せて配置する
 - 本数を減らしてサイズを大きくする
 - 千鳥に配置する
 - 緊急車両が通れる木の間隔を確保する

イス等による滞留空間づくりについて

- 日常的な利用のための憩いの場
 - 休める公園のようなスペースが必要
 - 固定のベンチも必要
 - イス型のベンチでない方が座りやすい
 - ポイントごとに広場があると良い
 - 寝ている人への対応問題がある
- 沿道店舗と連携した空間利用
 - オープンカフェができるスペースが欲しい
 - 植栽ます立上りベンチは気軽に座れそう
 - 飲食店で店の前に設置するのが良い
- イベントを想定した柔軟な設え
 - ベンチは可動式が良い
 - 可動イスの管理は店舗にしてほしい

取り入れたい沿道の要素について

- 通りに雰囲気滲み出す設え
 - 明るく、奥行きが感じられる(⑥⑨)
 - 中が見える店舗はウインドショッピングがしやすく、華やかな感じで良い(⑨)
 - 空間の居心地が良い(⑰)
 - 感じが良い(⑭)
 - 元町通りのピザ屋のテラスの雰囲気が良い
- ハウディモールにマッチする空間
 - セットバックは都会的な空間活用で、ハウディモールはそれに合う街(⑭)
 - イベントスペースとして、週末はお祭り感覚で利用できる(⑩)
 - 街並みに統一感を持たせる(⑯⑰)
 - 銀行は3時に閉まり、街が賑わうのはそれからのので、夜間の演出は必要(⑧)

沿道の要素イメージ



- 看板統一性配慮(切り文字デザイン)
- 看板統一性配慮(低彩度色彩)
- 看板演出(歩行者配慮照度)
- 固定的な軒の出
- 街並みとして統一された庇
- 店内の様子が伺える全面ガラス張り
- 商品の陳列の滲み出し
- 閉店後も店先を演出(業務系等)
- 店舗前面のショーウィンドウ
- 店舗の道への滲み出しによる販売
- 道路に面したテラス席(建物1階セットバック)
- 店頭販売カウンターとテラス席(一部道路上)
- 道路に面したテラス席(建物1階セットバック)
- 道路に面したテラス席(敷地内セットバック)
- 道路に面した複数列のテラス席(道路上)
- 色彩調和
- スカイライン(高さ・屋根並み)協調
- 低層部デザイン(上層部との切り替え)
- 敷設配慮(植栽)
- 敷設演出(プランター)